

がん征圧・がん患者支援 24 時間チャリティウォークイベント
リレー・フォー・ライフ

第 12 回

RELAY FOR LIFE JAPAN 2025 WAKAYAMA

～想い寄せる、支えあう、24時間～

2025/5/17 **SAT** OPENING 12:00 → 18 **SUN** FINALE 13:00

PLACE 和歌山城公園 砂の丸広場

「リレー・フォー・ライフ」は、がん経験者、ご家族、支援者とともにがんと向き合い、ともに支え合う 24 時間のイベントで、どなたでも参加できます。
皆さまのご来場をお待ちしています。

SNS もチェックしてね /



Facebook

Instagram



主 催 公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025 わかやま実行委員会
事務局 〒640-8341 和歌山市黒田 97 番地 6 グランセオ黒田 4 階
TEL | 070-1340-2178 FAX | 073-476-5700
E-mail | rfl.wakayama@gmail.com
Web | <http://relayforlife.jp/wakayama/>

* プライバシーポリシーは右記「QR コード」よりご確認ください。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま

～想い寄せる、支えあう、24時間～

開会宣言

いつもリレー・フォー・ライフ・ジャパンわかやまをご支援いただきありがとうございます！今年で12回目を迎えることができました！

「想い寄せる、支え合う24時間」、このテーマに込めた想いを胸に、第12回リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやまを開催できることを心より嬉しく思います。

リレー・フォー・ライフ・わかやまは、
会いたい人に会える 会えない人を想い偲ぶ
誰かを想い歩く 誰かを想い走る
誰かと話せる 誰かと繋がれる そして一人じゃないと思える
そんな場所です。

がんと向き合う方々、そのご家族、支えるすべての人たちが、互いに想いを寄せ支え合う24時間。この歩みは、痛みも希望も分かち合いながら、確かな絆を紡いでいきます。今日ここに集う一人ひとりの想いが、きっとみんなの力となり、明日への希望の光となります。ご参加くださったすべての皆さんに、心より感謝いたします。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま実行委員会
実行委員長 富士 希

リレー・フォー・ライフの3つのテーマ

Celebrate (祝う)

がんの告知を乗り越え、がんとともに今を生きている、サバイバー、ケアギバーをたたえ祝福します。

Remember (しのぶ)

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また、病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬います。

Fight Back (立ち向かう)

がんの予防や健診を啓発し、征収のための寄付を募り、がんで苦しむ人や苦しむ人をなくす社会をつくります。

・サバイバーとケアギバー

がんと告知を受けた方々を「サバイバー」、がん患者さんを支える家族や友人など、サバイバーとともに人生を歩む人を「ケアギバー」と呼んでいます。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま

～想い寄せる、支えあう、24時間～

イベントのご案内

サバイバーズラップ

サバイバーだけのウォークからリレーは始まります。参加者全員で拍手と共にサバイバーのみなさんを讃えます。また、ここに参加できなかった仲間たちの思いは手形とメッセージとして、サバイバーズフラッグに託された仲間が一緒に歩きます。〔5月17日12時15分頃〕

ルミナリエ

がんで旅立たれた方、今がんと向き合っている方へ、家族や恋人、友人、知り合いの方が追悼や励ましのメッセージを、またサバイバーご本人の思いを綴ったルミナリエバッグを会場に飾ります。そして、会場のみなさんと一緒に夕暮れ近くにこのルミナリエバッグに明かりを灯します。

〔5月17日17時00分頃 点火〕

エンプティテーブル

今日会場に来られなかった、がんで亡くなった方をしのび、祈るため、白いクロスがかけられたテーブルと、座る人のいない椅子を並べて、詩の朗読を行います。テーブルには、キャンドルとふせられたグラス、レモンと塩、バラの花とピンクのリボンが飾られています。これらのひとつひとつにはがんと向き合う方へのメッセージが込められています。〔5月17日19時00分頃〕

ブース出展・チームテント

ブース出展では、がんの早期発見・治療、健康に関する情報などを楽しく学べます。またマッサージやチャリティグッズ販売により、がん征圧のための寄付を募ります。チームテントでは、グラウンドを歩き走るチームのみなさんの元気な姿でイベントを24時間盛り上げてくれています。

部位別リボン

希望される方には部位別リボンを用意しております。同じ経験を共有する方に出会うきっかけになれば幸いです。（当イベントで用いるリボンの色は、がん啓発運動のシンボルであるアウェアネスリボンの色とは異なるものがあります。）



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま

～想い寄せる、支えあう、24時間～

イベントプログラム

5月17日土曜日

- 12:00 オープニングセレモニー 【司会：津山理美さん】
- 12:15 サバイバーズラップ
- 12:30 24時間リレーウォーク&ラン スタート
参加ブース・チーム紹介 【司会：すみたにさん】
- 15:00 医療講演「セカンドオピニオン-幸せな人生を送るために-」
講師：谷野裕一（たにのひろかず）先生
(公立那賀病院 臨床腫瘍科科長／NPO 法人いきいき和歌山がんサポート理事長／医学博士)
- 16:00 蔵下将人さんによるライブ
- 17:00 ルミナリエバッグ ライティング 【司会：南くるみさん】
- 17:15 宝子さんによるピアノ弾き語りライブ
- 18:00 シンポジウム「もう一度知ってもらおう！リレー・フォー・ライフ」
登壇：垣添 忠生氏 日本対がん協会 会長
是澤 聰子氏 日本対がん協会 RFL マネジャー
平野 登志雄氏 日本対がん協会 RFL チームスタッフパートナー
守田 亮氏 秋田厚生医療センター呼吸器内科 科長 (RFL あきた実行委員長)
富士 希氏 RFL わかやま実行委員会 実行委員長
岩倉 敏浩氏 RFL わかやま実行委員会 事務局
- 19:00 エンプティセレモニー
福山ひでみさんによる詩の朗読（手話通訳 田中三津子さん）
- 19:30 お手紙の朗読講演「虹の橋を渡ったあなたへ」（朗読：南くるみさん）
- 20:30 浦部陽介さんによるライブ
- 22:00 ふらっとわかやま～夜更けにみんなでお話する会～

5月18日日曜日

- 5:30 詩の朗読「ドーンパープルの朝」
- 6:00 わかやま朝のおはよう体操
- 10:00 紀州よさこい演舞 【司会：津山理美さん】
憂喜世桜（うきよざくら）さん・喜笑花（きしょうか）さん
- 10:30 海南市立第三中学校 吹奏楽部さんによる演奏
- 11:00 藤白の獅子舞保存会さんによる演舞
- 11:30 琉球國祭り太鼓さんによる演舞
- 12:00 24時間リレーウォーク&ラン ファイナル
- 12:30 フィナーレセレモニー

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま特別講演

「セカンドオピニオン-幸せな人生を送るために-」

5/17 15時
和歌山城公園
砂の丸広場

今年は「セカンドオピニオン」をテーマにご講演いただきます。がん治療における情報収集や意思決定がますます重要になる中、時間や場所にとらわれずに専門医の意見を聞けるオンラインセカンドオピニオンの活用法や意義について、長年にわたりがん医療に携わってこられた谷野先生から直接お話を伺える貴重な機会です。

がん医療に関する深い知見と、常に患者さんに寄り添う温かい姿勢で、がん征圧と患者支援を目指すリレー・フォー・ライフの活動を力強く後押ししてくださっています。



谷野 裕一 (たにの ひろかず) 先生

プロフィール

昭和38年 和歌山市生まれ
公立那賀病院 臨床腫瘍科 科長／NPO法人いきいき
和歌山がんサポート 理事長／医学博士

経歴

昭和62年に和歌山県立医科大学医学部を卒業後、医師免許を取得。同大学附属病院での勤務を皮切りに、関東医療少年院法務医官、慶應義塾大学、米国メリーランド州立大学などで研鑽を積まれ、帰国後、和歌山県立医科大学助手を経て、公立那賀病院、岸和田徳洲会病院、橋本市民病院で呼吸器外科や乳腺科の部長・科長を歴任。

北里大学（医学部准教授・乳腺甲状腺外科科長）、神戸大学（大学院特命教授・附属国際がん医療研究センター副センター長）、再び和歌山県立医科大学（附属病院病院教授）など、乳腺外科・がん治療の最前線で診療・研究・教育に情熱を注ぐ。平成10年に和歌山県立医科大学にて医学博士号取得。現在は公立那賀病院 臨床腫瘍科 科長として地域医療に貢献。

平成22年よりNPO法人いきいき和歌山がんサポートの理事長、NPO法人西日本がん研究機構（WJOG）の理事・乳がんグループ副リーダー、がん患者支援やがん研究の推進にも精力的に取り組む。共著書や論文発表多数あり、がん医療の発展に貢献。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま

～想い寄せる、支えあう、24時間～

主 催

公益財団法人 日本対がん協会／リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま実行委員会

後 援 ※順不同

厚生労働省／和歌山県／和歌山市／和歌山県立医科大学附属病院／日本赤十字社 和歌山医療センター／海南医療センター／橋本市民病院／公立那賀病院／独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター／特定非営利活動法人 いきいき和歌山がんサポート／公益社団法人 和歌山県病院協会／一般社団法人 和歌山県医師会／一般社団法人 和歌山市医師会／一般社団法人 和歌山県薬剤師会／一般社団法人 和歌山市薬剤師会／一般社団法人 和歌山県放射線技師会／一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会／公益社団法人 和歌山県看護協会／一般社団法人 和歌山県助産師会／一般社団法人 和歌山県作業療法士会／公益社団法人 和歌山県理学療法士協会／公益社団法人 和歌山県柔道整復師会／一般社団法人 和歌山県歯科医師会／一般社団法人 和歌山市歯科医師会／和歌山弁護士会／協同組合 近畿整骨師会／和歌山県製薬協会／社団福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院／一般社団法人和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会／独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山ろうさい病院／ひだか病院/国保野上厚生総合病院／高野町立高野山総合診療所／有田市立病院／社会福祉法人 恩賜財団 済生会有田病院／独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院／公益財団法人 白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院／国保すさみ病院／那智勝浦温泉病院／くしまと町立病院/地域医療支援病院 新宮市立医療センター

ご寄付いただいた皆さま ※順不同

医療法人匡慈会 伏虎リハビリテーション病院／株式会社 有田ヰセキ商会／株式会社 絆／ソニー生命ボランティア有志の会／株式会社ヘアーズアッシュ／有限会社サカモト電機工業／公益財団法人 和歌山県民総合検診センター／公益社団法人和歌山県理学療法士協会／公益社団法人和歌山県柔道整復師会／しんどうなおこクリニック／尾中由希菜／由良茂美／刀祢匠平／山崎佳子／寺岡菜採／岩上佳世／鈴木宏宗／山本勝己／林義之／木村三代子／成松美由紀／楠戸達也／橋本久美／辻本洋平／岩原和孝／中前昌也／木下美佐子／下畠雅幸／永石誠

特別協賛 ※順不同

株式会社 ECC／Apex 株式会社／小野薬品工業株式会社／株式会社熊谷組／GA ジャパンカンパニー合同会社／JCR ファーマ株式会社／住友生命保険相互会社／ソニー生命保険株式会社／第一三共株式会社／大樹生命保険株式会社／中外製薬株式会社／株式会社ポーラ／株式会社三菱UFJ銀行／明治安田生命保険相互会社／株式会社 明治安田総合研究所

特別後援 アメリカ対がん協会

運営協賛 大塚製薬株式会社

運営協力 宝樹運輸株式会社／株式会社トラストワン／川西テント商会／イベントファクトリー杉谷／WBS 和歌山放送ラジオ／海南市立第三中学校／株式会社紀州まちづくり舎／汗濁大学アスリートクラブ

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま

～想い寄せる、支えあう、24時間～

チーム＆ブース参加のみなさま

① 医療法人匡慈会伏虎リハビリテーション病院 (5/17 12-18時、5/18 8-12時)

当院では緩和ケアチームを中心に多職種でがん患者さんのケアやリハビリに取り組んでいます。がんと闘っている方々を応援し、また志半ばにして亡くなられた方々を偲びながら、希望の思いを胸に参加させていただきます。またブースでは『自然の郷きのくに』様の無農薬野菜の委託提供を行います。ぜひお立ち寄りください。

② とんかつ一番 (ALL 参加)

今年もがん患者さんやそれを支える皆さんを応援するために24時間頑張って走りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

③ 公益社団法人 和歌山県理学療法士協会 (5/17 12時-18時、5/18 9時-13時)

和歌山県で働いている理学療法士たちが参加しています。来場者に対して、杖先ゴムの点検や無料交換を行います。少しでも来場者のサポートができればと考えています。またリハビリに対する相談も行います。

④ 一般社団法人 和歌山県作業療法士会 (5/17 12時-17時、5/18 9時-13時)

パネル設置、リハビリ相談ブース（PT協会と合同）、子どもさん向けのミニゲーム

⑤ 株式会社紀昭 ハート整骨院・鍼灸院 (5/17 12時-19時)

姿勢・足圧・測定検査

⑥ 紀の国ブラインドランナーズ (ALL 参加)

視覚に障害のある方と伴走者が「キズナ」と呼ばれるロープを握り合い、ランやウォークを楽しんでいます。「紀の国ブラインドランナーズ」はブラインドマラソンを通じて誰もが笑顔で暮らすことのできる共生社会の実現を目指します。

⑦ ~KRC~ (ALL 参加)

毎年参加させていただいています！今年も熱い想いでつないでいきます♡

⑧ 汗濁大学アスリートクラブ (ALL 参加)

2011年11月11日創部、社会人向けアスリートクラブです。今年も仲間とともに、そして会場にいるみんなとともに、24時間おもいっきり走り続けます。

⑨ HOPES COME TRUE (ALL 参加)

ソニー生命の社会貢献チームです。がんサバイバーの方を間接的ながら支援する意味では、我々もケアギバーであると思います。

「HOPES COME TRUE」は、がんに関わる全ての方と共に世界からがんをなくそう、という想いでできたソニー生命社会貢献のソウルフレーズです。

今年も24時間途切れることなく、ウォークしたいと思います。

⑩ ICAA アロマトリートメント&みき薬局 (5/17 12 時-18 時)

アロマハンドマッサージ、アロマの香りのオイルでハンドマッサージします。

⑪ リレー・フォー・ライフ・ジャパン泉州実行委員会 (ALL 参加)

大阪府貝塚市でリレー・フォー・ライフを行う「泉州実行委員会」です。貝塚市でもリレー・フォー・ライフを開催します。

⑫ 株式会社一富士 (5/17 12 時-17 時・5/18 9 時~13 時)

紀州南高梅の梅干しの試食販売（減塩3%しそ梅・はちみつ梅・アップル梅の3種類）
梅ジュレッシング（ドレッシングタイプの調味料）の試食および提供

⑬ 愛晋会 中江病院 緩和ケアチーム (5/17 12 時-18 時、5/18 9 時-12 時)

清水先生、青石先生のもと、看護師、セラピスト、薬剤師と多職種でがん患者さんの疼痛緩和などに取り組んでいます。

⑭ エイズサポートネットわかやま (ALL 参加)

感染経路の別を問わずエイズ患者・HIV感染者、その家族及びパートナー等の支援及びHIV/AIDSに対する差別と偏見を取り除くことによって共に生きる社会の創造を目的として活動しています。今回も、疾病に関する活動をする団体として、がん征圧を願い、絆を深め合い、命のリレーを繋いでいきたいと参加をしました。

⑮ 和歌山医療社会事業協会 (ALL 参加)

和歌山医療社会事業協会は、医療・福祉・保険分野で働くソーシャルワーカーで構成される職能団体です。私達は毎日“当たり前”的生活”を送っていますが、病気やケガでその“当たり前”的生活”を送ることができなくなることもあります。

「どうしたらよいのだろう」と悩んだ時に、私達にご相談ください。

⑯ VIVA♡NAGA (ALL 参加)

公立那賀病院の有志メンバーの集まりです。新型コロナ流行前はウォークで、その後はランで参加しています。昨年はナイトランでしたが、今年は24時間ランで参加します。

医師・リハビリ科・看護師・事務職・社会福祉士など様々な職種が声を掛け合い、力を合わせてタスキをつなぎます。地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざす、この大切な活動と一緒に盛り上げたいと思います！！

⑰ 一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会 (ALL 参加)

介護支援専門員（ケアマネジャー）による介護相談

⑱ ピアリング・ブルー会員有志グループ・和歌山会 (5/17 12-22 時 5/18 6-13 時)

SNSを通じてがん患者同士が繋がるコミュニティサイトの広報

⑲ NPO 法人 いきいき和歌山がんサポート (5/17 12 時-19 時、5/18 9 時-13 時)

活動紹介、Tシャツ販売、出張がんサロン、ドリップコーヒーの提供

⑳ 和歌山グリーフケアの会＆エンドオブライフケア有志 (5/17 12 時-21 時)

グリーフケアの紹介、和歌山グリーフケアの会活動紹介

②和歌浦走友会 (5/17 12 時-21 時・5/18 6 時~13 時)

毎週日曜日、松下体育館駐車場に集合し、雑賀崎～和歌浦～片男波（時にはマリーナシティ）を皆で走ったり歩いたりする仲間です。メンバーは老若男女、走力もそれなりです。楽しく走ることを目的とっています。駅伝や花見、バーベキューなどの楽しいイベントもあります。飛び入り参加大歓迎です。

②日本赤十字社和歌山医療センター (5/17 12 時-17 時、5/18 9 時-13 時)

がん患者さんに向けた「メッセージカード」をご用意し、皆様にご記入お願ひいたします。ご記入いただいたカードは後日、メッセージボードを作製し、当センター内に掲示させていただきます。がん患者さんやご家族の方に皆様の励ましのお言葉や暖かいメッセージを頂戴出来ればと考えております。

③福祉ネイル和歌山校 (5/17 12 時-17 時・5/18 9 時~13 時)

福祉ネイル ネイルサービスの提供（ネイルカラー、爪磨き、ハンドトリートメント）

④和歌山県立医科大学附属病院 腫瘍センター (5/17 12 時-20 時・5/18 9 時-13 時)

和歌山県立医科大学 腫瘍センターチームです。日々がんとたたかう皆さんへ、エールと感謝を込めて走ります。

⑤和歌山県・和歌山市 (5/17 12 時-17 時、5/18 9 時-13 時)

がん予防、早期発見を目的とした各種パンフレットの配布等、がん患者支援制度の周知

⑥がん相談支援センター／和歌山県がん診療連携協議会 (5/17 12 時-18 時)

患者さんやご家族、来場者の皆様に、がんに関する情報を提供したり、専門のスタッフが、がんの治療や療養生活全般の質問や相談をお受けします。

⑦株式会社あかりホーム (5/17 13 時-18 時)

フランクフルト提供・パンフレット配布

E 公益財団法人日本対がん協会 (ALL 参加)

日本対がん協会は、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくすため「がん予防・検診の推進」、「がん患者と家族の支援」、「正しい知識の普及啓発」を重点施策として、民間の立場で取り組む公益財団法人です。日本の RFL を主催しています。

E 全国リレー・フォー・ライフ実行委員有志の会 (5/17 12 時-22 時・5/18 5 時-12 時)

全国のリレー・フォー・ライフ実行委員会およびサバイバーが休憩し交流できる場所を作る。和歌山城ホールで開催中の日本がんサポーティブケア学会参加者とリレー・フォー・ライフ参加者の交流の場とする。がん遺族の交流の対話の場とする。全国の医療者およびケアギバーの交流の場とする。和歌山市鳴神の宇都宮病院元看護部顧問・佐野敬子の遺著『がんになった看護部長 病と向き合いながら生きる』の展示。がん種別のリボンを使った柿本聰氏手製のバッグを提供することで、部位別がんの啓発とサバイバー同士の連携の機会とする。上記の目的のために無料で茶菓を提供し、差し入れなども自由に置ける場とする。

グルメ出店のみなさま

5月17日（土）12時～夜

- ・キッチンカーまるいちさん 焼鳥・おにぎり・フランクフルト（～20時）
- ・sound cafe NEIRO さん キーマカレー、牛すじ丼・の販売
- ・bu_bu_coffee さん 珈琲、ドリンク etc
- ・ゆめたこさん たこ焼き、焼そば etc

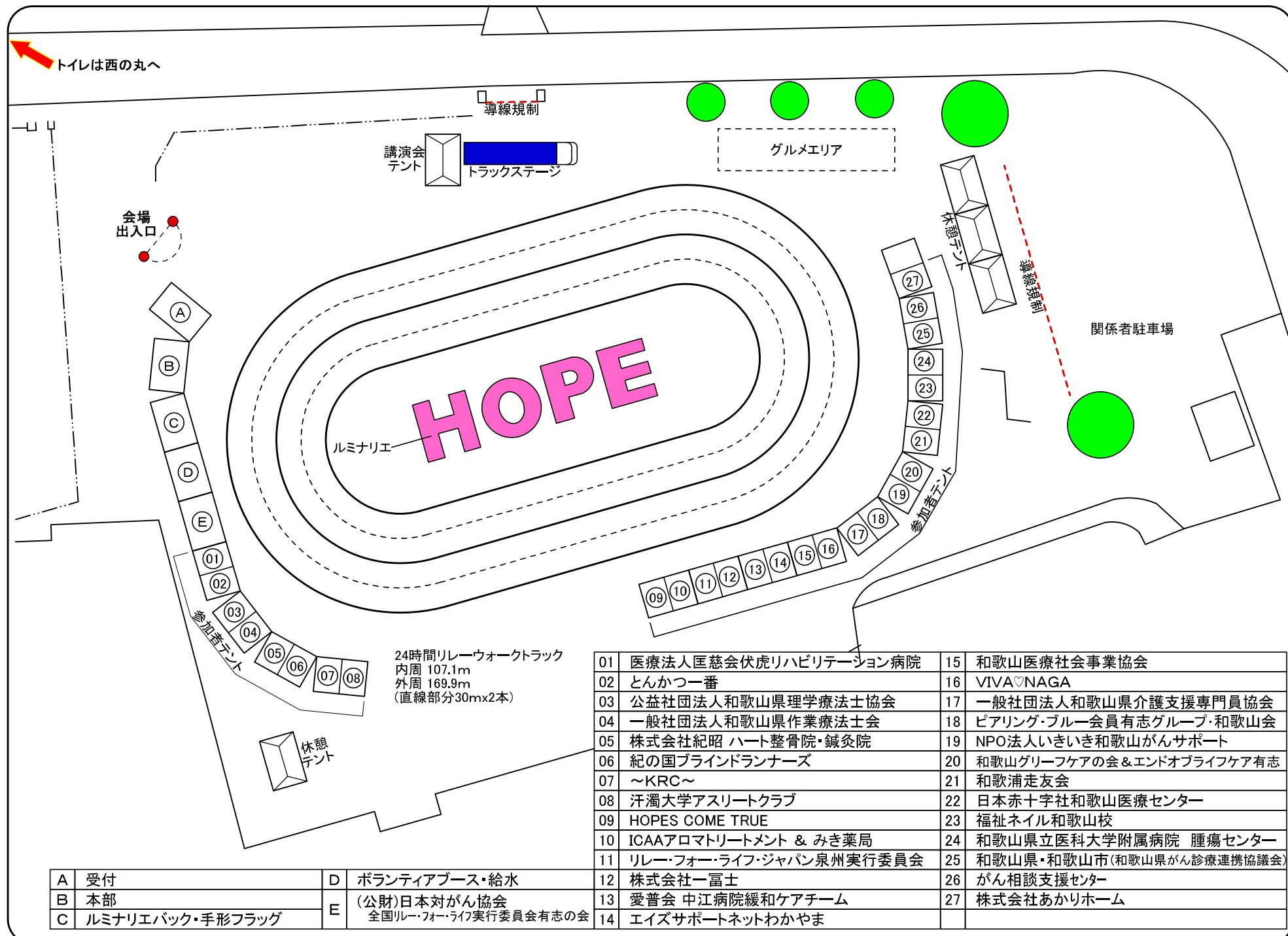
5月18日（日）9時～13時

- ・bu_bu_coffee さん 珈琲、ドリンク etc



「いっぱい食べていっぱい歩こら～」
南出尚美 初代実行委員長（通称:ボス）

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025わかやま(和歌山城 砂の丸広場)



リレー・フォー・ライフの寄付金は、 このようにがん患者支援に役立てられています。



若手医師育成奨学金

日本対がん協会が、全米屈指のがん専門病院である米テキサス大学 MD アンダーソンがんセンターと連携して設けた「マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」。この賞は 2011 年に始まり、がん医療に携わる日本の若手医師に、同センターで 1 年間研修してもらうプログラム。患者・医療者同士・社会とのコミュニケーションをどのように図つていけばいいか、また臨床試験はどう進めるかなどを幅広く学び、日本の地域のがん医療をリードする医師の養成を目的としています。

**MD アンダーソンがんセンターは、
がん患者ケア・がん研究・がん教育と予防について、
世界でもっとも評価の高い病院の一つです。**



●最先端の技術を有する医療機関

癌の治療・研究・教育・予防を専門とする大規模がんセンターで、癌を撲滅することをミッションに、革新的な治療法を提供し続ける努力をしています。ここで働く医師たちは、癌治療の国際的なリーダーと知られ、過去にも数多くの治療が開発されており、米国内において最も多くの癌患者を診察しています。

●世界 16 力国のネットワーク

世界 16 力国の 22 法人を含む姉妹機関のネットワークを構築しています。姉妹機関各々の共同研究領域に関連する学部で互恵関係を結び、留学制度、医学研究発表会、共同研究プロジェクトが推進されています。ネットワークを構築することで、世論を動かし、がん研究に関する知識を世界規模で向上させています。

●各所で評価されている信頼

1.U.S. News & World Report's Best Hospital



アメリカ 3 大ニュースメディアの一つ、U.S. News & World Report が '90 年から運営している賞。数千の病院を対象に、がんをはじめ 16 の専門分野で評価を行う。

MD アンダーソンがんセンターは、常時 2 位以内にランク。

3.Certified Age Friendly Employer



RetirementJobs.com が運営。従業員に対し快適な職場を提供するプログラム。MD アンダーソンがんセンターの以下の実績を評価。

- ・全従業員の教室研修とオンライン研修の受講が可能。
- ・週 20 時間以上勤務する従業員には、授業料の返還制度。
- ・50 歳以上の従業員の健康や定年後のサポート。
- ・長期間勤務してきた従業員へのギフトや表彰制度等。

2.Magnet Recognition Program



American Nurses Credentialing Center(ANCC、アメリカ看護師資格認定センター)によって運営されているプログラム。看護面で特に優れた施設に対して表彰を行う。

MD アンダーソンがんセンターは以下の 3 点で高い評価。

- ・患者が看護師から常に質の高いケアを受けることができる。
- ・看護スキルが高く、且つスキルを伸ばす組織が整っている。
- ・他の組織やパートナーとの連携がよくできている。

4.CEO Cancer Gold Standard



CEO が集まり、がんの未然防止・早期発見、がん患者に対する質の高いケアを目標としたプログラム。MD アンダーソンがんセンターはこのプログラムを実施している機関として認定。

▼第1回目の受賞者 増田紘子さんからのメッセージ

(右から5人目が増田さん)



初めまして。岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科の増田紘子です。

皆様の温かいご支援のもと、米テキサス大学 MD アンダーソンがんセンターで研修を始めて5ヶ月。研究者として私が行っていることは、大きく分けて二つあります。一つはホルモン感受性や HER 2 たんぱくといった有効な治療ターゲットがまだ明らかにされていないトリプルネガティブ乳がんを、mRNA 解析により治療効果や予後に即したグループに分け個々の患者さんに有効な治療を行うための鍵を見つけること、もう一つは、炎症性乳がんという稀な乳がんながら、早い進行再発と皮膚浸潤により QOL を著しく低下させる予後不良な乳がんについて生物学的性質を知り、有効な治療法を探すために、MD アンダーソンがんセンターでの膨大な患者さんのデータをまとめ、検討することです。日本との大きな違いは、時間も含め資源に非常に恵まれていることです。組織としての成熟さと、データ管理のシステムが機能的に働き、また、医師の仕事の重心が研究にあり、医師は研究者である、ということを痛感します。臨床と研究の間がとても近く、日々生まれる新しい治療の可能性を身近に感じることのできる環境は、本当に貴重な経験となっています。先生方に出会い、熱意に触れ、自分の至らなさに気づく、それだけでも私にとって医師として成長できる大切な機会だと感じています。リレー・フォー・ライフの活動を通して皆様が与えてくださったこの機会は、これから医師にとって自身を成長させてくれる貴重な経験となることは間違ひありません。この機会をくださった皆様と、現在未熟な私に、素晴らしい機会を与えてくださっている MD アンダーソンがんセンターの上野先生に胸いっぱいの感謝を込めて。ありがとうございます。

日本の皆様、リレー・フォー・ライフの会場でお目にかかる日を楽しみにしています。

▼リレー・フォー・ライフの寄付をもとに研修を受ける方からのメッセージ

KKR 札幌医療センター斗南病院の古川孝広さん



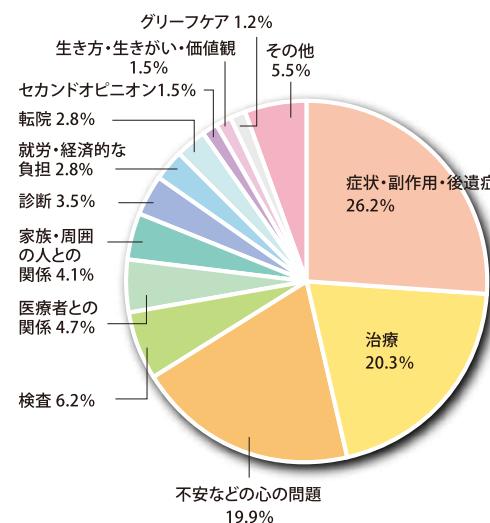
私は様々な医療団体間の連携を加速させ、若いがん専門医たちが重要な情報に簡単にアクセスできて、国際医療コミュニティで議論できるような情報共有基盤のようなものを作りたいと考えています。このようなすべての取り組みが、がん患者に対してより親しみやすい社会を作り、それが世間一般やプライベートな支援に広がることを可能にします。私の大きな夢は、日本からがんをなくし、世界からがんをなくすことです。そのために私の人生を捧げるつもりです。このもつとも大切な目標を勝ち取ることに情熱を注ぎます。

栃木県立がんセンターの原尾美智子さん



『がん患者（治癒している、していないに関わらず）に充実した人生を与えること』これが私の願いであり夢です。不幸な事ですが、がんを根治出来ない患者は常に存在します。また、がんが治ったとしても、残りの人生をずっと再発に怯えて生きることになります。私は患者それぞれが人生を全うするための手助けをする医療組織を設立したいと思っています。私は最も先進的ながんセンターについて学び、その知識を持ち帰って日本のがん患者治療に生かしたいと思います。夢を実現する機会を与えて下さったことに改めて感謝致します。

〔相談の内訳〕



♪ホットラインに、相談をいただいた方からの声

がん患者の家族です。きょうは話を聞いてくれてありがとうございました。患者本人からも電話をさせていいですか。

話をゆっくり聞いてくれたので、気持ちが落ち着きました。

必要な情報が得られてよかったです。

どの治療を受けるか迷っていましたが、何をポイントに決めたらいいか教えてくれました。また、とても良く話を聞いてくれました。

頭の中で考えていたことを、一つ一つ整理してくれました。

— そのほかの無料相談 —

社会保険労務士による「がんと就労」電話相談

- 相談時間：40分
- 相談料：無料（電話代は相談者の負担）

- 予約制：ホームページから予約
<https://www.jcancer.jp/>



※詳しくは日本対がん協会ホームページをご覧ください。

※秘密は厳守しますのでご安心ください。



がん相談 ホットライン

予約不要・秘密厳守

相談日時 每日(年末年始を除く)

受付時間 午前10時～13時/15時～18時

03-3541-7830

公益財団法人
日本対がん協会



クリーフレットデザイン
東京デザイン専門学校
グラフィックデザイン科 深澤奈緒



がん相談ホットライン

がんの患者さんやご家族、大切な人からのご相談を看護師と社会福祉士が無料でお受けします



03-3541-7830

〔受付日時〕
毎日(年末年始を除く)
10時～13時/15時～18時

※受付時間は変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。

例えば…こんなときにお電話下さい。

今後の生活やお金のことが
心配なので、話を聞いて欲しい。

抗がん剤の副作用が不安です。

担当医から緩和ケアを勧められたのですが、
まだ治療を続けたい。



家族にできることは
何でしょう。

※予約は不要です
※相談は匿名で結構です
※相談内容の秘密は厳守します
※電話代は相談者の負担になります
※相談時間は原則20分です

一緒に考えます。

セカンドオピニオンを
受けたいのですが、
担当医に言い出しにくい。

ホットラインでお受けした電話から…

今日、病院でがんと診断されました。少し話を聞いてほしい。

いろいろ担当医に質問したいことがあるのですが、聞きづらくて困っています。

手術後の職場復帰のことが心配です。職場の人にどのように伝えたらいいのかわからない。

手術まで1ヶ月あります。がん細胞が広がるのではないかと不安です。



がん相談ホットラインの事業は、がん征圧基金、リレー・フォー・ライフの実行委員会と支援企業、ほほえみ基金のご支援を受けています。

看護師と社会福祉士が、
あなたと一緒に考えます。



question and answer.

Q 相談内容が
もれることはありますか?

A 相談の秘密は厳守します。
なお、相談内容については、日本対がん協会が個人を特定しない統計情報として使用する場合がありますのでご了承ください。

Q ホットラインで治療に関する
相談はできますか?

A ホットラインは、看護師と社会福祉士が対応しますので、担当医にかわることはできません。セカンドオピニオンに準ずることはしません。
あなたの治療に関する考えを整理したり、がんと付き合っていくための工夫と一緒に考えることはできます。